JAバンク山形県

JAバンク山形県の地域密着型金融の取組状況について（平成28年度）

農林中央金庫 山形支店

JAバンク山形県

〇JAバンク山形県(県内17JAと農林中央金庫山形支店)では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

〇このたび、平成28年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

JAバンク山形県

1.農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援
（JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み）
・・・P. 4

2.担い手の経営のライフサイクルに応じた支援
・・・P.10

3.経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した
資金供給手法の提供
・・・P.15

4.農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等
地域育成への貢献
・・・P.18

JAバンク山形県

1.農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

（JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み）

JAバンク山形県は、地域における農業者との結びつきを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っております。

JAバンク山形県

1-(1)農業融資商品の適切な提供・開発

・JAバンク山形県は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

・平成29年3月末現在のJAバンク山形県の農業関係資金残高(注1)は、408億円で、日本政策金融公庫の受託貸付残高(注2)は、17億77百万円です。

(注1) 農業関係の資金残高とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク山形県が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

JAバンク山形県

【営農類型別農業資金残高】　　（単位：百万円）

営農類型	平成29年3月末
穀作	13,550
野菜・園芸	2,033
果樹・樹園農業	2,590
工芸作物	26
養豚・肉牛・酪農	6,984
養鶏・鶏卵	11
養蚕	2
その他農業（注1）	15,604
合計	40,800

（注1）「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

JAバンク山形県

【資金種類別農業資金残高】 （単位：百万円）

種類	平成29年3月末
プロパー農業資金（注1）	31,503
農業制度資金（注2）	9,297
うち農業近代化資金	1,888
うちその他制度資金（注3）	7,409
合計	40,800

（注1）プロパー農業資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

（注2）農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資しているものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。

（注3）その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 （単位：百万円）

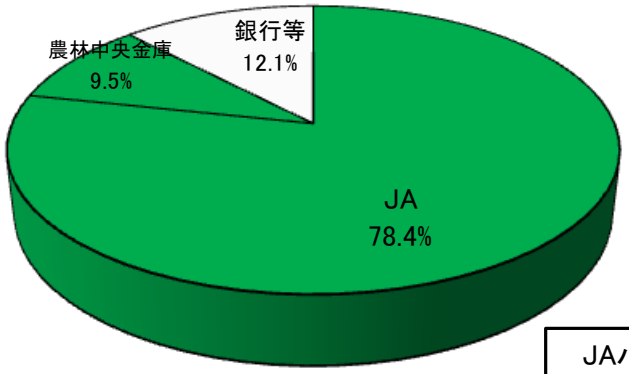
種類	平成29年3月末
日本政策金融公庫資金	1,777
その他	0
合計	1,777

（注）JAバンクでは、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付を取り扱っています。

JAバンク山形県

・JAバンク山形県は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫農業資金（公庫直貸除く）の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

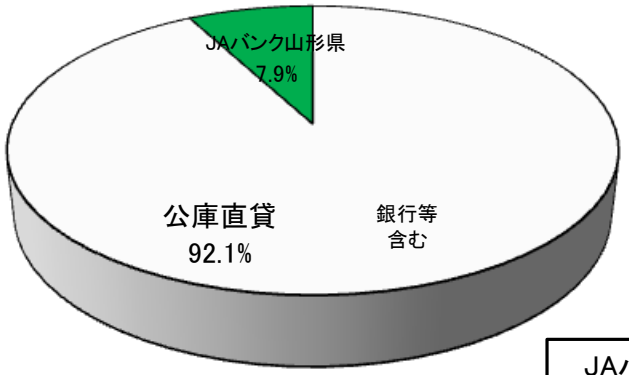
農業近代化資金　融資残高のシェア
（県内）



JAバンク
山形県
87.9%

平成28年12月末現在
出所：山形県・農林中央金庫

日本政策金融公庫　農業資金取扱残高のシェア
（県内）



JAバンク
山形県
7.9%

平成29年3月末現在
出所：日本政策金融公庫・農林中央金庫

JAバンク山形県

1-(2)担い手のニーズに応えるための体制整備

・JAバンク山形県では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取組んでいます。

・JAでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。
また、県内17JAの本店には25人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

・農林中央金庫山形支店では、JAのサポート機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

・また、平成23年度に創設された「JAバンク農業金融プランナー」の資格試験に取組み、県内全JAにおいて、計183名が資格を取得しています。

JAバンク山形県

2.担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク山形県は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っております。

JAバンク山形県

2-(1)新規就農者の支援

・JAバンクでは、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

資金名	平成28年度実行件数（単位：件）	平成28年度実行金額（単位：百万円）	平成29年3月末残高（単位：百万円）
青年等就農資金(注1)	6	13	22
JA新規就農応援資金(注2)	0	0	2
就農支援資金(注3)	0	0	473
合計	6	13	497

(注1)青年等就農資金は26年度に取扱開始となった公庫資金

(注2)JA新規就農応援資金は全国版の統一要綱資金

(注3)就農支援資金は26年度までの旧制度にもとづく制度資金

JAバンク山形県

・JAバンクでは、地域農業の担い手を育成し、地域農業の維持・地域活性化に貢献するため、平成22年度から「新規就農応援事業」を実施しております。平成27年度からは事業内容を見直し、① 研修受入先への研修費用助成を拡充するとともに、② 独立新規就農者への営農費用助成も新規に開始しました。
JAグループ山形が一体となったPR活動により、28年度は申請者189人、助成申請額44,960千円という非常に多くの申請を受け付けました。

【28年度新規就農応援事業　事前申請受付結果】

独立新規就農者への営農費用助成		研修受入先への研修費用助成			合計	
申請者数	助成申請額	申請者数	研修生数	助成申請額	申請者数	助成申請額
169人	33,800千円	20人	34人	11,160千円	189人	44,960千円

JAバンク山形県

2-(2)経営不振農家の経営改善支援

・JAバンク山形県では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に取り組んでいます。

（単位：先）

債務者区分	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画の策定先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	事業計画策定率 ＝a/A	ランクアップ率 ＝b/A
正常先	53	3		46	5.7%	
要注意先	137	4	1	134	2.9%	0.7%
破綻懸念先	132	28	4	126	21.2%	3.0%
実質破綻先	61	7	2	59	11.5%	3.3%
破綻先	0	0	0	0	0.0%	0.0%
計	383	42	7	365	11.0%	1.8%

（注）期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成28年3月末時点です。

JAバンク山形県

2-(3)講演会・セミナー等の開催

・JAバンク山形県では、農林中央金庫山形支店の融資先のお取引先様や系統団体等を招いたセミナーを開催しています。

【セミナー開催実績】

セミナー名	参加対象者	参加者数	主催者共催者	講演内容
農業法人経営者セミナー （平成28年12月1日）	農業法人・関連団体・系統関係者	約60名	【主催】 農林中央金庫山形支店	【講演】「ちょっとの気づきで人は変われる会社は変われる“小さな一流企業のつくり方”」 【講師】幸南食糧株式会社取締役会長　川西　修　氏 【講演】「流通業界の現状と農業経営に期待すること流通業の視点から農産品の販売戦略を考える」 【講師】コーネル大学RPMｼﾞｬﾊﾟﾝﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾃﾞｨﾚｸﾀｰ　大塚　明　氏
山形県地域営農法人協議会 「経営セミナー・個別相談会」 （平成28年8月24日） （平成28年8月25日）	山形県地域営農法人協議会加盟法人・組織系統関係者	約90名	【主催】 山形県地域営農法人協議会 【共催】】 JAｸﾞﾙｰﾌﾟ山形地域・担い手ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	【研修】「労務管理を取り巻く諸リスクへの対応について」 【講師】社労士　鈴木　大輔　氏 【研修】「農業法人の安定運営にむけた留意点について」 【講師】税理士　栗山　賢陽　氏　税理士　三谷　美重子　氏

JAバンク山形県

3.経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供与手法の提供

JAバンク山形県では、担い手の経営実態やニーズの適した資金の提供に努めています。

JAバンク山形県

3-(1)負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

・JAバンク山形県では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成28年度負債整理資金の貸出実績】

資金名	平成28年度実行件数 （単位：件）	平成28年度実行金額 （単位：百万円）	平成29年3月末残高 （単位：百万円）
農業経営負担軽減支援資金(注1)	0	0	113
畜産特別資金(注2)	0	0	210
その他	5	30	1,120
合計	5	30	1,443

（注1）農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

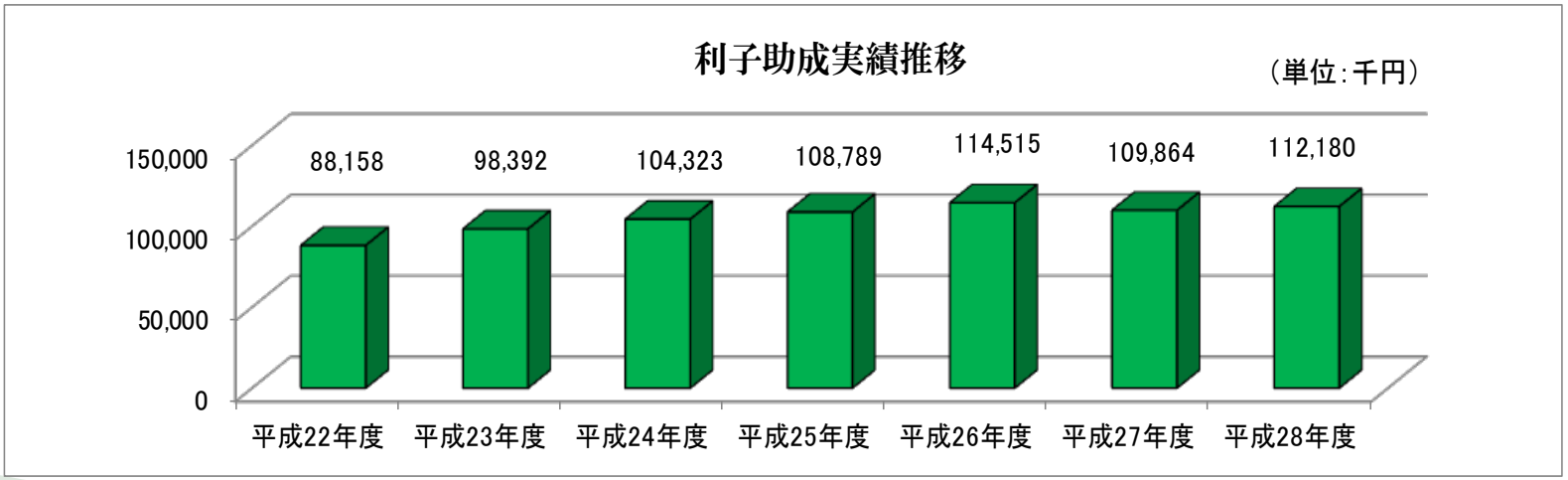
（注2）畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

JAバンク山形県

3-(2)農業融資への利子助成

・JAバンク山形県が融資する農機ハウスローン、スーパーS資金、農業近代化資金等の融資に対して、農業振興等に貢献するための事業を展開するために創設されたJAバンクアグリ・エコサポート基金が最大1%の利子助成を行い、農業の担い手への支援を行っております。

・平成28年度は、県下17JAの農業資金について、５，841件、112，180千円の利子助成を実施しました。



「JAバンク山形県における地域密着型金融の取組状況について(平成28年度)」

JAバンク山形県

4.農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク山形県では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

JAバンク山形県

4-(1)災害被災者への支援

・JAバンク山形県では、自然災害等による被害を受けた農業者を支援するため、災害対策窓口の設置、山形県の災害対策資金への上乗せ利子補給、独自災害対策資金の創設、個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等の対応を行っております。

JAバンク山形県

4-(2)JAバンク食農教育応援事業の展開

- JAバンク山形県は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材本「農業とわたしたちのくらし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。
- 教材本「農業とわたしたちのくらし」は、JAバンクを通じて、県下の約250小学校へ、約1万2千セット配布され、学校の授業等において活用されています。

写真左：教材本「農業とわたしたちのくらし」

写真中：教材本「農業とわたしたちのくらし」
（特別支援教育版）」

写真右：DVD「農業とわたしたちのくらし」

(注) このほか、JAバンク山形県などのJAグループ山形では、山形県の理解を深めてもらうための「いのちを育む山形県の農業」の配布を行っております。

JAバンク山形県

・ 県下JAでは、子どもを対象とした食農教育を中心とする教育実践活動にも取り組んでいます。

JA名	活動主体	活動名	内容
山形市	JA	けやきっこ米作り学習田	管内小学校5年生を対象とした稲作体験と収穫祭。
やまがた	JA	わんぱくアグリスクール	管内小学校3～6年生を対象とした農業体験スクール。
さがえ西村山	JA	「ごはんちゃわん」贈呈	管内小学校5年生への「ごはんちゃわん」の贈呈と、「食と農のかかわり及びJAの役割」についての講話。
		「つるり里芋栽培セット」贈呈	管内小学校への地元特産「つるり里芋」栽培セットの贈呈。
みちのく村山	青年部	バケツ稲栽培体験活動	管内小学生を対象としたバケツ稲栽培体験と収穫祭。
		水稲栽培体験活動	管内小学生を対象とした稲作体験と収穫祭。
さくらんぼひがしね	JA	くだもの皮むき指導	リンゴ、ラフランスの皮むき指導と農産物生育学習。
		相撲大会おにぎり提供	大会へおにぎりを提供し、米づくりの学習。
		果樹王国ひがしね農業体験スクール	管内小学校3～6年生を対象とした、いちごとトマトときゅうりの収穫体験、サンプリング、学習会、昼食会。
		地産地消　子ども料理教室	管内小学校3～4年生を対象とした、地元食材の料理教室と農業に関する勉強会。
		農業少年クラブ	管内小学校1～6年生を対象とした農業体験。
		「みんなのよい食」ポスターコンクール	管内小学校4～6年生を対象としたポスターコンクール。
		百姓寺子屋活動	管内小学校3～5年生を対象とした農業体験。

JAバンク山形県

JA名	活動主体	活動名	内容
新庄もがみ	JA	「ごはん・お米と私」作文・図画コンクール」	管内小中学生を対象とした作文・図画のコンクール。
金山	JA	もちつき体験教室	管内幼稚園児・地区住民を対象としたもちつき体験。
真室川	JA	学校給食への食材の無償提供	管内小中学校給食への食材を提供し農への理解を深める。
		昔ながらの米づくりの挑戦！サトイモで芋煮をつくろう！！	管内小学生を対象にした、昔ながらの米づくり体験とサトイモ栽培体験、および芋煮づくり。
		「ごはん大好き・やさい大好き」	管内園児を対象とした米づくり・野菜づくり体験。
		伝統野菜を育て、地域の食文化を探る	管内小学生を対象とした伝統野菜栽培体験と食文化を学ぶ。
山形おきたま	JA	「ちゃぐりん　キッズクラブ」	管内小学生を対象とした農業体験スクール。
	青年部	食農教育活動事業	管内小学生を対象とした稲作・畑作体験。
鶴岡	JA	稲作体験教室	管内小学生を対象とした稲作体験と収穫祭。
庄内たがわ	農政対策推進協議会	作文・図画コンクール	管内小中学生を対象とした、「ごはん・お米」にかかわる図画と作文のコンクール。
あまるめ	JA	稲作体験教室	管内小学生親子を対象とした稲作体験と試食会。
そでうら	青年部	お米学習教室	管内小学校3・5年生を対象とした稲作体験。